

CG1(-Z)/CG3/CG5-S Series パッキン交換要領 ①

1 パッキン類の交換方法

①φ20~φ40はロッドパッキン、ピストンパッキン、シリンダチューブガスケットの交換が可能です。

CBG1 Series

φ20~φ40はロッドパッキン、ピストンパッキン、シリンダチューブガスケット、ロックピストンパッキンの交換が可能です。

②φ50~φ100のパッキン類の交換は、当社営業までご依頼ください。

CBG1 Series

φ50~φ100はロックピストンパッキンのみ交換が可能です。その他のパッキン類の交換は、当社営業までご依頼ください。

③上記以外の部品の交換が必要な場合は、当社営業までご依頼ください。

警告

パッキン類の交換は、十分な知識と経験を持った人が行ってください。

分解、再組付後のシリンダの安全性は作業を行った人の責任になります。

注意

パッキン類の交換は部品の角等で手や指を切らないよう、十分注意して行ってください。

2 シリンダの分解・再組付

注意

シリンダは清浄な場所で分解・組付けをする必要があります。きれいなウェスを敷いて行ってください。

分解の際には、チューブカバーの二面取り部分を万力で軽くはさみ、ロッドカバーの二面取り部分にスパナ、モンキー等を掛けてゆるめ、ロッドカバーを外してください。再度締付ける際には、分解前の位置より0~2°位増し締めを行ってください。

φ50以上になると大きな締付トルクで締付けていますので分解不可能です。分解が必要な場合には、当社営業まで問い合わせ願います。

単動タイプは、内蔵されたスプリングによりカバーが飛び出すおそれがありますのでご注意ください。

CG5-S Series

カバーとシリンダチューブの結合部のねじ部はシール剤により気密性を持たせています。シリンダ分解時には古いシール剤を完全に除去し組立前に新たにシール剤を塗布する必要があります。(ロックタイト542(中強度)相当品)

3 パッキンの取外しについて

①ロッドパッキン

カバーの前側から図1のように精密ドライバーなどを差込み抜き取ります。

注意

この時カバーのパッキン溝に傷を付けないよう注意してください。

CG5-S Series

耐水性スクレーバが摩耗している場合はロッドカバー Ass'yの交替としてください。

その際には当社営業まで問い合わせ願います。

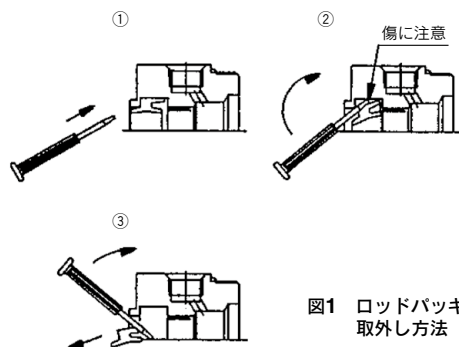


図1 ロッドパッキン取外し方法

CG5-S Series

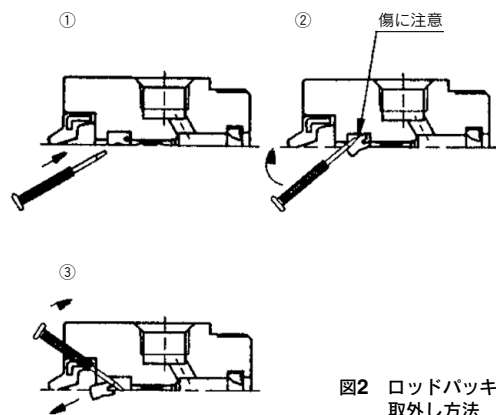


図2 ロッドパッキン取外し方法

②ピストンパッキン

まずピストンパッキンまわりのグリスを拭取ってください。その方が取出しやすくなります。

ピストンパッキン溝は深い為、精密ドライバーではなく図3のようにピストン周囲の一方から包んで、押出す様にして浮出たところを引抜きます。

アクチュエータ

モジュラコナクト
圧力制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラコナクト
圧力制御機器

工業用フィルタ

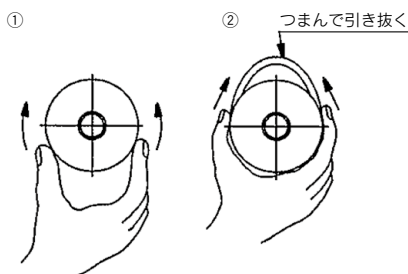


図3 ピストンパッキン取外し方法

- ③チューブガスケット
精密ドライバー等で取り除きます。
- ④バルブパッキン、バルブ押え用ガスケット(エアクションタイプのみ)
図4を参照し、分解後精密ドライバー等で取り除きます。

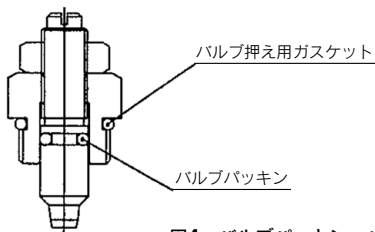


図4 バルブパッキン、バルブ押え用ガスケット位置

- ⑤ロックピストンパッキン(エンドロック部)

CBG1 Series

- a. エンドロックユニットのゴムキャップの上からマニュアルボルトを差込みます。(※L ロックタイプの場合は不要)
- b. 六角穴付ボルト2本を外し、エンドロックユニットを引抜きます。
- c. $\phi 20 \sim \phi 63$ はロックピストンパッキンを取外します。
- d. $\phi 80, \phi 100$ はパッキン押えとロックピストンパッキンを取外します。

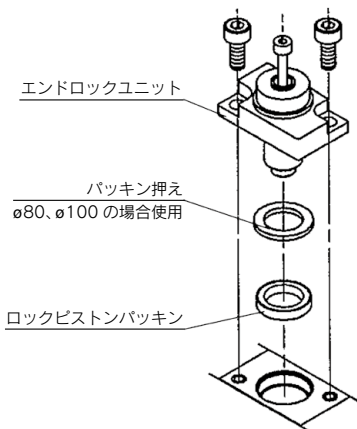


図5 ロックピストンパッキン取外し方法

4 グリースの塗布について

⚠注意

グリースはリチウム石けん基グリースJIS2号相当品を使用してください。

- ①ロッドパッキン、ロックピストンパッキン
交換用新パッキンには薄くて良いですから、外周にグリースを塗布してください。これは、カバーへ装着しやすくするためおよびカバーとの密着をよくするためです。また、溝にはグリースを充填してください。これは作動用として必要です。
- ②ピストンパッキン
グリースをパッキンの内外周にまんべんなく薄く塗布してください。ピストンへ装着しやすくするためです。
- ③チューブガスケット
グリースを薄く塗布してください。シリンダ組付の際には脱落防止になります。
- ④バルブパッキン、バルブ押え用ガスケット(エアクションタイプのみ)
グリースを薄く塗布してください。バルブ組付の際には脱落防止になります。
- ⑤シリンダ各部品
シリンダの各部品には図6の各部分にグリースを塗布しますが、100ストロークのシリンダ1本に付表の表の量が必要です。目安としては人差指ですくった程度が約3(g)です。

$L \approx 100\text{mm}$ 、又はストローク $\times \frac{1}{2}$

CG1 Series

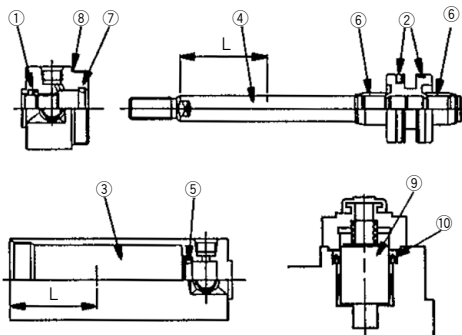
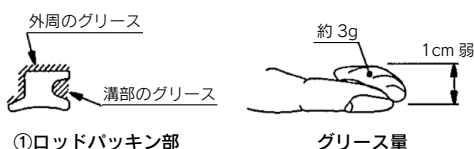


図6 グリース塗布位置

CBG1シリーズ/
エンドロック部



①ロッドパッキン部

グリース量

CG1(-Z)/CG3/CG5-S Series パッキン交換要領 3

グリース塗布量(g)

ボア	φ20	φ25	φ32	φ40	塗布位置
ストローク					
100st時	2	3	3	3~4	①②③④⑤ ⑥⑦⑧⑨⑩
50st割増	0.5	0.5	0.5	1	③④

※ラパークッションの場合は⑤⑥⑦はありません。
※⑨⑩はCBG1シリーズ/エンドロック部です。

CG3 Series

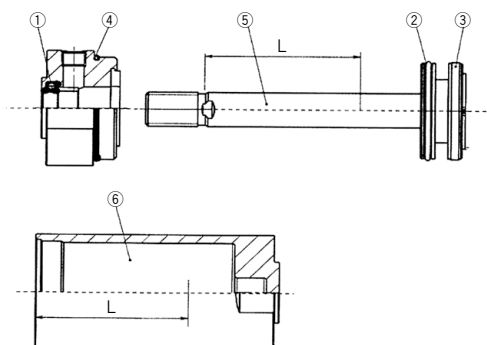


図7 グリース塗布位置

グリース塗布量(g)

ボア	φ20	φ25	φ32	φ40	塗布位置
ストローク					
100st時	2	3	3	3~4	①②③ ④⑤⑥
50st割増	0.5	0.5	0.5	1	⑤⑥

5 パッキンの装着について

①ロッドパッキン

パッキン方向を間違えないように装着します。この後、図8のようにグリースをパッキンとプッシュ内周全面に渡って塗布します。また、小口径の場合には、精密ドライバー等を使って塗布してください。

②ピストンパッキン

パッキン装着後、図9のようにグリースをすり込む要領でパッキン溝内部と外周に塗布してください。

③チューブガスケット

カバーに装着します。

④バルブパッキン、バルブ押え用ガスケット(エアクションタイプのみ)

図4を参照し、所定の位置に装着します。

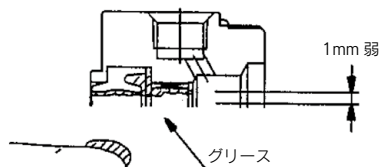


図8 ロッドパッキン

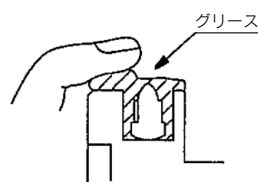


図9 ピストンパッキン

CG5-S Series

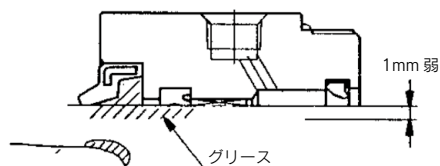


図10 ロッドパッキン

⚠注意

組付け終了後には必ず作動および気密性に異常がない事を確認してください。

アクチュエータ

モジュラ制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラ制御機器

工業用フィルタ